

令和 7 年度上半期
会津美里町水道事業 業務状況報告書

令和7年度上半期（令和7年4月1日～令和7年9月30日）の会津美里町水道事業の業務状況は次のとおりです。

1. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

当期の営業収益は 146,094,796 円、営業外収益は 27,917,220 円（長期前受金戻入 22,075,434 円を含む）で、合計 174,012,016 円となり、収入の主軸である給水収益は、予算額 334,171,000 円に対し調定額 144,388,596 円で 43.2%の執行率となりました。

当期の営業費用は 179,013,282 円（減価償却費 83,058,763 円を含む）、営業外費用は 4,659,524 円で、合計 183,672,806 円となりました。

(2) 資本的収入及び支出（消費税込み）

当期の資本的収入は 8,000,000 円で、資本的支出は 112,195,414 円となりました。

収入の内訳は、一般会計補助金 8,000,000 円です。

支出の内訳は、建設改良費 77,594,506 円、企業債償還金 34,600,908 円です。

(3) 予算執行状況（消費税込み）

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：円）

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業収益	483,505,000	174,012,016	309,492,984
第1項 営業収益	336,789,000	146,094,796	190,694,204
第2項 営業外収益	146,715,000	27,917,220	118,797,780
第3項 特別利益	1,000	0	1,000

支出

（単位：円）

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業費用	487,842,000	183,672,806	304,169,194
第1項 営業費用	468,512,000	179,013,282	289,498,718
第2項 営業外費用	16,070,000	4,659,524	11,410,476
第3項 特別損失	1,260,000	0	1,260,000
第4項 予備費	2,000,000	0	2,000,000

イ 資本的收入及び支出

収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本的收入	234,666,000	8,000,000	226,666,000
第1項 企業債	129,600,000	0	129,600,000
第2項 出資金	10,051,000	0	10,051,000
第3項 補助金	86,566,000	8,000,000	78,566,000
第4項 工事負担金	8,449,000	0	8,449,000

支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本の支出	444,097,000	112,195,414	162,165,276
第1項 建設改良費	374,552,000	77,594,506	127,221,184
第2項 企業債償還金	69,545,000	34,600,908	34,944,092

2. 令和6年度決算

本町の水道事業は、安全で安心な水を供給するために、施設の維持管理と老朽管更新事業等の建設改良を行い、安定給水の確保に努めました。

老朽管更新事業は、既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、管路整備の一環として平成30年度に計画を策定、令和元年度から工事に着手しており、現在は全体更新計画延長約25kmのうち、累計更新延長は約4.72kmであり、進捗率は18.9%となりました。

また、将来にわたり安定的な水道供給を継続するためには、他の水道事業体との広域的な連携が必要であり、その中で、馬越浄水場を起点とした用水供給・受水事業体によるソフト事業を中心とした広域連携を進めています。人工衛星を活用した漏水調査の実施結果は、配水量総量の減少により不明水削減の効果がありました。

水道事業の現状は、全国的に水道管が破裂する事故が発生しており、高度成長期に整備された老朽化した施設の更新や災害に強い施設整備といった将来に受け継ぐ取組が必要不可欠であり、これらの事業を実施するためには多額の財源を確保する必要があります。

今後も適切な維持管理及び重要度や優先度に応じた計画的な更新を進め、経営の効率化と給水サービスの向上、広域連携の推進に努めていきます。

令和6年度の決算の概要は以下のとおりです。

(1) 給水の状況

令和6度末における給水戸数は6,015戸であり、前年度と比較し7戸減少し、給水人口は15,641人で、前年度と比較し280人の減少となりました。

年間総配水量は2,059,246 m³と、前年度と比較して3,143 m³減少しました。有収水量は1,438,616 m³で、前年度と比較して20,624 m³減少し、有収率は69.86%と前年度と比較し0.89ポイント低下しました。有収率が低下した主な要因としては、過疎化に伴う給水人口の減少、管路の老朽化によって発生した大規模漏水等による配水量の増加、夏季の塩素濃度低下による管末排泥による水質維持が考えられます。

今後も有収率の向上を図るためには、引き続き漏水調査及び老朽管の更新を着実に進める必要があります。

(2) 経営の収支状況

保有する現金預金は、前年度末から88,998,025円増加し、令和6年度決算時において587,065,215円となりました。このうち安全性及び流動性を考慮し、定期預金に250,000,000円を預入し、資金の運用に努めました。

令和6年度の給水収益は6,070,770円減少して365,507,730円となりました。収納状況は、納付管理を徹底し、かつ給水停止処分を実施し、現年分で84.5%（前年比0.3ポイ

ント減)、過年度分は 98.5% (前年比 0.3 ポイント減)、全体額では 86.4% (前年比 0.3 ポイント減) の収納率を確保しました。

収益的収支(消費税抜き)は、収入総額が 426,797,419 円となり、前年度と比較して 12,129,215 円(2.8%)減少し支出総額は 405,424,854 円となり、前年度と比較して 15,463,044 円(4.0%)増加しました。

前年度より収入は減少し支出が増加したため、本年度の純利益は前年度と比較して、27,592,259 円減少し、21,372,565 円となりました。

純利益が減少した主な要因は、収入では、給水人口減少や節水型機器の普及等による給水収益が減少傾向にあるなか、支出での給排水管の漏水等による修繕費の増加、有形固定資産の減価償却費の増加が大きな要因として挙げられます。

令和 7 年度上半期 会津美里町水道事業損益計算書

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 9 月 3 0 日まで)

(単位 : 円)

1 営 業 収 益

(1) 給 水 収 益	131, 262, 360	
(2) その他の営業収益	1, 628, 550	132, 890, 910

2 営 業 費 用

(1) 原水及び浄水費	49, 962, 729	
(2) 配水及び給水費	26, 570, 557	
(3) 総 係 費	11, 145, 058	
(4) 減 価 償 却 費	83, 058, 763	
(5) 資 産 減 耗 費	0	
(6) その他営業費用	3, 330	170, 740, 437

営 業 損 失 37, 849, 527

3 営 業 外 収 益

(1) 受取利息及び配当金	694, 640	
(2) 他 会 計 補 助 金	5, 116, 412	
(3) 長期前受金戻入	22, 075, 434	
(4) 雑 収 益	30, 264	
(5) 引 当 金 戻 入 益	0	27, 916, 750

4 営 業 外 費 用

(1) 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	4, 659, 524	
(2) 雑 支 出	0	4, 659, 524
		23, 257, 226

経 常 損 失 14, 592, 301

5 特 別 利 益

(1) 固 定 資 産 売 却 益	0	
(2) 過 年 度 損 益 修 正 益	0	0
	<hr/>	

6 特 別 損 失

(1) 固 定 資 産 売 却 損	0		
(2) 過 年 度 損 益 修 正 損	0		
(3) そ の 他 特 別 損 失	0	0	0
	<hr/>	<hr/>	<hr/>

当 期 純 損 失	14,592,301
前年度繰越利益剰余金	383,630,165
その他未処分利益剰余金変動額	0
当期末処分利益剰余金	<hr/> <hr/> 369,037,864

令和7年度上半期 会津美里町水道事業貸借対照表

(令和7年9月30日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ	土地		35,169,957	
ロ	建物	795,954,596		
	減価償却累計額	△ 394,251,029	401,703,567	
ハ	構築物	6,948,249,029		
	減価償却累計額	△ 4,165,879,445	2,782,369,584	
ニ	機械及び装置	684,438,409		
	減価償却累計額	△ 509,080,989	175,357,420	
ホ	車両運搬具	3,200,313		
	減価償却累計額	△ 2,249,789	950,524	
ヘ	工具、器具及び備品	4,214,584		
	減価償却累計額	△ 3,520,403	694,181	
ト	建設仮勘定		102,117,997	
	有形固定資産合計			3,498,363,230

固定資産合計

3,498,363,230

2 流動資産

(1)	現金預金	524,216,179	
(2)	未収金	40,625,710	
	貸倒引当金	△ 301,000	
(3)	貯蔵品	5,364,866	
(4)	前払金	18,099,200	
(5)	その他流動資産	14,521,275	

流動資産合計

602,526,230

資産合計

4,100,889,460

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

570,745,108

ロ その他の企業債

0

企業債合計

570,745,108

固定負債合計

570,745,108

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

34,943,447

ロ その他の企業債

0

企業債合計

34,943,447

(2) 未払金

0

(3) その他未払金

0

(4) 前受金

20,000,000

(4) 引当金

イ 賞与引当金

0

ロ 法定福利費引当金

0

引当金合計

0

(5) 預り金

7,215,766

(6) その他流動負債

13,204,355

流動負債合計

75,363,568

5 繰延収益

(1) 長期前受金

2,339,099,710

(2) 収益化累計額

△ 1,404,291,545

繰延収益合計

934,808,165

負債合計

1,580,916,841

資本の部

6 資 本 金		2,148,417,051
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	740,720	
ロ 国 庫 補 助 金	1,776,984	
資 本 剰 余 金 合 計		2,517,704
(2) 利 益 剰 余 金		
イ 減 債 積 立 金	0	
ロ 利 益 積 立 金	0	
ハ 建 設 改 良 積 立 金	0	
二 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	369,037,864	
利 益 剰 余 金 合 計		369,037,864
剰 余 金 合 計		371,555,568
資 本 合 計		2,519,972,619
負 債 資 本 合 計		4,100,889,460